

地域おこし作物「コーヒー」の品種選定および栽培技術確立

背景・目的

- ・奄美地域では、新たな特産作物としてコーヒー栽培に取り組む生産者が増えている。
- ・伊仙町では、生産者、AGF、丸紅が「徳之島コーヒー生産支援プロジェクト」を立ち上げている。
- ・コーヒーは強風に弱く、栽培技術が未確立のため、早急な強風対策と栽培技術確立が求められている。

成果の内容

◎ コーヒーの木は風に弱い。→ 強風対策の検討

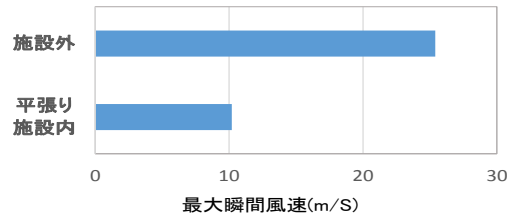


図 平張り施設による防風効果

平張り施設内では、最大瞬間風速が40%程度に抑えられた。

◎ コーヒーの木は強光に弱い。→ 遮光率の検討

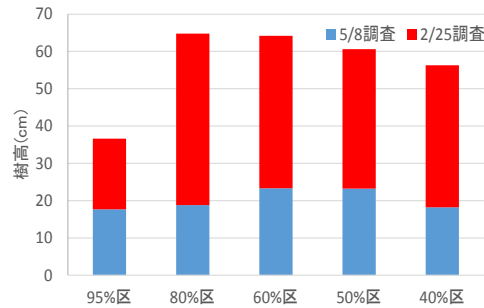


図 遮光率の違いが樹高に及ぼす影響

遮光試験の実施状況(遮光率60%)

定植1年目は、遮光率80%区の生育が最も良かった。

◎ 育苗技術が未確立。→ 育苗ポットの検討



生育状況(品種:トパージオ)
左:30cm ロングポット 右:15cm ポリポット



根の状況(品種:トパージオ)
左:30cm ロングポット 右:15cm ポリポット

表 ポット別生育調査(品種:トパージオ)

育苗ポットの種類	地上部の生育(3/5調査)				根長、乾物重調査(3/19調査)			
	樹高(cm)	葉長(cm)	葉幅(cm)	節数	根長(cm)	地上部重(乾物g)	根重(乾物g)	TR比
15cmポリポット	22.2	14.6	6.8	9.6	28.3	4.9	1.7	2.8
30cmロングポット	16.9	11.9	5.8	10.1	43.5	3.8	1.3	3.0

15cmポリポットは地上部の生育がよく、乾物重も重かった。